

令和5年度 第1回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和5年8月18日（金） 10時30分～12時05分
場 所	サンエールかごしま5階 特別会議室
出席者	委員14名 山田委員（会長）、大重委員（副会長）、石田委員、木原委員、竹林委員、徳峰委員、中島委員、永山委員、奈良迫委員、野田委員、馬場委員、松見委員、丸山委員、三輪委員 （欠席：石走委員、瀬戸山委員、田中委員、濱田委員、松村委員、山内委員） 女性活躍アドバイザー、市民局長、人権政策部長、男女共同参画推進課長、主幹、職員2名
会次第	1 開会 2 新委員の紹介 3 議事 （1）本市の男女共同参画の進捗状況について ①本市における女性の公職参画状況 ②第3次男女共同参画計画に基づく令和4年度事業実施状況及び令和5年度事業実施計画 ③推進計画の達成状況について 4 閉会
議事概要	3(1)① （意見なし） ○委員 ●事務局 3(1)② ○現状として、女性が管理職になるのに、女性本人が否定的な考えをもっていることがある。 ○防災会議における女性の割合について、女性がゼロの市町村が多く存在するのは、災害が多く発生する日本で深刻な状況である。 3(1)②③ ○女性が責任を持つということが育成されていないため、女性が自分で位置を上げていくことができない状況にある。 ○男女共同参画を進めるうえで、鹿児島では男性の理解がなかなか進んでいない。女性の意識改革も大事だが、男性への意識改革プロジェクトについてはどのように考えているか。 ●トップの意識を変えるということで、経営者管理職の意識改革プログラムを実施しているが、そこに興味がない人に対する意識啓発をしていくことが課題と認識している。 ○「女性活躍推進」という言葉に対して、世代間・性別間で認識にギャップがあると思うが、どのように理解してもらおうと考えているか。 ●「女性だけでなく男性も暮らしやすくなる」「性別に関わらず個性を発揮する社会づくりである」ということを、機会を捉えて繰り返し伝えていく。 ○育休をとっている間、職場に残された人たちが効率よく仕事をしていく方法を企業は知らないと思うが、それをどのように伝えていくか。 ●企業へ向けては、成功事例を市の女性活躍のセミナーや情報誌で紹介する等している。 ○性別に関わらず、自分のやりたいことをしていける環境づくりのために、現在取り組んでいるものがあるか。 ●希望者へのデジタル人材育成に取り組んでいる。